

- 問1 北海道西部に位置する石狩平野は、かつて植物の遺体が十分に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地帯が広がっており、農業には不向きな土地でした。この地域において、他の土地から土を運び入れる「客土」などの土地改良が行われた結果、現在ではどのような農業が盛んに行われていますか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候を活かしたリンゴなどの果樹栽培      2. 十勝平野で見られるような大規模な畑作      3. 根釧台地で主流となっている大規模な酪農      4. 大規模な機械化による水田稲作
- 問2 北海道の泥炭地における土地改良の取り組みについて、不毛な湿地を農地に変えるために「排水施設の整備」と共に行われた、他の場所から新しい土を運び入れる作業の名称を選びなさい。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 減反      2. 輪作      3. 客土      4. 干拓
- 問3 北海道の農業の土地利用の状況について、東北地方と比較して述べた文として正しいものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 北海道と東北地方はともに全耕作面積のほとんどが米で占められており、栽培面積の実数においても地域的な差異は見られない。      2. 北海道は全耕作面積に占める米の割合が日本で最も高く、米への依存度が東北地方よりも顕著である。      3. 東北地方は全耕作面積に占める米の割合が高く米単作的な傾向があるが、北海道は米以外の作物も大規模に栽培されている。      4. 東北地方は冷涼な気候のため米以外の畑作が中心だが、北海道は広大な土地のほぼすべてを米の栽培面積に割り当てている。
- 問4 北海道の中西部を流れる石狩川の下流域には、かつて大規模な泥炭地（湿地帯）が広がっていましたが、土地改良が進んだことで現在は日本有数の稲作地帯となっています。石狩川の河口が面している海域と、その流域に広がる平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 太平洋と根釧台地      2. 太平洋と十勝平野      3. オホーツク海と北見盆地      4. 日本海と石狩平野
- 問5 地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。      2. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。      3. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。      4. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。
- 問6 札幌において、冬（12月～2月）の降水量が東京などの太平洋側の都市に比べて多くなる理由を、地理的な背景から説明したものとして正しいものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した風が、太平洋上で水分を蓄えて戻ってくるため。      2. 冬に湿った南東の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。      3. 暖流である対馬海流から蒸発した水蒸気が、北東の季節風によって運ばれるため。      4. 冬に湿った北西の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。
- 問7 かつての石狩平野の自然環境と、その土地で行われた開発の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 火山噴出物が堆積した水はけの良すぎる土地であったため、大規模なかんがい施設を整備して畑作を行った。      2. サンゴ礁が隆起してできた保水力のない土地であったため、地下ダムを建設して農業用水を確保した。      3. 植物の遺体が分解されずに堆積した農業に適さない湿地帯であったため、排水や客土による土地改良を行った。      4. 海岸近くの浅瀬を堤防で囲んで干し上げた土地であったため、塩害を防ぐための用水路整備を優先した。
- 問8 日本で最も長い約4445kmの海岸線を持ち、砂の堆積によってできた砂州や砂嘴、陸繋島などの多様な地形が見られる都道府県における工業の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 日本最大の自動車工業の拠点であり、製造品出荷額のうち輸送用機械が占める割合が極めて高く、関連工場が集中している。      2. 瀬戸内海に面した立地を活かして、古くから造船業が盛んであり、現在は自動車の組み立て工場も多く進出している。      3. かつては地域内で産出される石炭や鉄鉱石を原料に鉄鋼業が発展したが、現在は輸入原料を使用し、自動車部品向けの特種鋼などを生産している。      4. 京浜工業地帯の中核として、輸入された原油を精製する石油化学コンビナートや、大規模な製鉄所が海岸沿いに密集している。
- 問9 北海道の農業経営が、他の都府県と比較して「大規模農業」と呼ばれている理由として、その特徴を適切に説明しているものはどれですか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を利用して、同じ土地で年に2回作物を栽培する二毛作を徹底している      2. 山がちな地形を活かし、小規模な土地に多くの労働力を投入する集約的な農業を行っている      3. 都市近郊の立地を活かして、狭い土地で付加価値の高い野菜を生産する園芸農業が中心である      4. 大型の農業機械を導入することで、農業就業者一人あたりの耕地面積を広げている
- 問10 北海道の北東部に位置する海域で見られる流氷は、冬季の重要な観光資源となっています。この地域における流氷観光の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 暖流に乗って流氷とともにやってくるカツオやマグロなどの大型魚を一本釣りで狙う。      2. 流氷を溶かして作った真水を大規模なパイプラインで本州へ送る施設を見学する。      3. 砕氷船と呼ばれる特殊な船に乗り、海面の氷を割りながら進む様子を間近で見学する。      4. 流氷の上を歩いて北方領土まで渡り、現地の歴史を学習するツアーに参加する。
- 問11 北海道のニセコ町における産業と観光の特徴に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 冬場にスキー客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では飲食業や宿泊業が最も高い割合を占めている。      2. 夏場に避暑客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では農業が最も高い割合を占めている。      3. 冬場にスキー客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では農業が最も高い割合を占めている。      4. 夏場に避暑客を中心とする外国人観光客が多く訪れ、就業者割合では飲食業や宿泊業が最も高い割合を占めている。
- 問12 北海道の十勝平野などで行われている、同じ土地に異なる種類の作物を数年ごとに順序立てて栽培する「輪作」の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。      2. ビニールハウスなどの施設を利用して成長を早め、出荷時期をずらし、収益を上げるため。      3. 1年間に同じ土地で2種類の作物を栽培し、土地の利用効率を最大限に高めるため。      4. 機械化による作業効率を向上させるため、1つの農地で1種類の作物のみを栽培し続けるため